

ちよつとそこまで

# わがまち散歩

道すがら、心通わす人がいる  
古里の温もりに包まれながら  
あちらこちら、わがまち散歩

潮井水源からの美しい水が流れる布田川



国の天然記念物に指定された布田川断層帯。潮井神社の横を貫いています

杉堂地区の潮井水源の近くにある「四賢婦人記念館」



晩年の梶子の書が飾られています



畳敷きの館内に展示物が飾られており、分かりやすく説明されています

小谷・杉堂 編

益城町と西原村の境界にあたる杉堂地区と小谷地区。ここは、日本の女性の地位向上に尽力した矢嶋梶子の古里で、本紙連載小説「舵を切る」の舞台となった場所です。今回は郷土・矢嶋家にまつわる場所を皮切りに、いろいろと歩いてみました。

## 国の天然記念物 布田川断層帯

チロチロと布田川のせせらぎが聞こえて来ます。杉堂地区の潮井水源から流れる川の水は澄んで、寒い朝には湯気が立ち上ります。その光景にはのどかな情緒が漂います。

熊本地震で、潮井水源を抱く潮井神社を横に裂いた布田川断層帯は、国の天然記念物に指定されています。倒木や拝殿の石段のくずれなど、地震の爪痕が保存されており、災害の教訓とし

てその姿を残しています。今後、潮井水源周辺では子どもたちが遊べる遊具や公園、キャンプ場といった自然公園が建設される予定です。

## 矢嶋家4姉妹の生涯伝える 「四賢婦人記念館」

潮井水源近くにたたずむのが「四賢婦人記念館」。四賢婦人とは郷土・矢嶋家の4姉妹のことで、今日の男女共同参画の礎を築いた竹崎順子、日本を代表するジャーナリスト徳富蘇峰と小説家・徳富蘆花の母の徳富久子、思想

右/矢嶋家4姉妹の人生を描いたコミック本「四賢婦人物語」

下/「ぜひ、ご来館ください」と手を振ってくれた、「四賢婦人記念館」のボランティアガイドの皆さん



家・横井小楠を支えた妻の横井つせ子、そして本紙で連載中の「舵を切る」の主役で、日本の女子教育に尽力した矢嶋梶子の4人です。

同館には、4姉妹に関する資料や手紙などが展示されており、それらから女性の地位が低かった時代に、凛と生